

有限会社武井工業所（タケイ工房）

TEL.03-3801-0290 FAX.03-3801-8112

URL <https://takei-k.com>武井 昭彦
代表取締役

代表者：代表取締役 武井 昭彦

所在地：〒116-0002 荒川区荒川3-31-3

資本金：300万円

従業員：3人

創業年：昭和36年

業種：金属製品製造業

事業内容：医療用機器・理化学機器・精密機械の製造・
自社製品（健康器具、介護製品等）の製造・販売

「BtoC」製品市場で活路を開く

創業は昭和36年。創業者が医療機器の鋳造製造を開始して以降、医療機器関連のモノづくりを多く手掛け、その後理化学機器分野にも参入して、精密な板金プレス加工を得意とする事業基盤を固めた。

昭和55年に先代の秀夫氏が2代目、そして令和2年に昭彦氏が3代目として経営を引き継ぐ。先代の時代に薬事法・薬機法の改正などの影響で、医療機器業界への新規参入が増えて競争が激化。既存市場だけでは容縮を余儀なくされていたため、得意な技術と設備を活かした製品開発に力を入れ、個人客が対象の「B to C」（一般消費者向け）市場に本格的に進出して、活路を開いてきた。

ヒット商品！立ち上がり補助手すり「立つ之助®」

平成23年、MACCプロジェクトの分科会「健康福祉ビジネス研究会」への参加をきっかけに、高齢化時代に対応した製品開発に注力。東京都立大学（旧 首都大学東京）・健康福祉学部の新田収博士の協力を得て、ベッド・寝具からの起き上がりを補助する介護手すり「立つ之助®」を開発。スチールを使用し、人の体重がかかっても倒れにくい構造のため安全性に優れ、工事不要な点、持ち手にグリップを付けたリ、板の上に敷くマットと滑り止めでサービスで付けるなどのちょっとした工夫が評価されている。

当社では、使用者の利便性を考慮し、「立つ之助®」シリーズのバリエーションを広げ、自社ホームページで順次紹介している。下の写真は、令和4年に開発・令和5年より販売している、現在一番需要の高い商品2品。ボルダリングのように下から順に交互にパイプを握ることで布団から立ち上がる「ボルダー」（左側）と、2本目の手すりの角度を調整することで立ち上がった後のひと足をそれぞれ左右0度・45度・90度と5段階の違う方向への歩行を助ける「のび太」（右側）。令和5年から立つ之助®「愛」「ラブ」「元氣」が荒川区のふるさと納税の返礼品に採用されている。

全国各地の介護施設や一般家庭からの注文も相次ぎ、ECサイトでもヒットを続け、年々売上げが伸びている。



立つ之助®「ボルダー」



立つ之助®「のび太」

暮らしに便利な製品を追求

当社の製品づくりは、家業とする板金プレス加工技術を磨き、医療機器・理化学機器関連の製作で培った高い品質。職人道に徹し、「世の中のために少しでも貢献できる製品をつくる」との気概で、福祉用具以外にも家庭で使われるカトラリー製品なども順次開発・販売してきた。

地球温暖化による災害が各地で多発していることに危機感を覚え、令和5年には、SDG'sにも考慮した段ボール製の組立式「非常用簡易トイレ」を開発。1分で組み立てられ、省スペースでの保管が可能な低価格商品と好評である。



非常用簡易組立トイレ



非常用トイレセット

今後も、歴代社長から続く経営理念「絶対に手を抜かない製品づくり」をもとに、暮らしに便利なモノを追求し、「手づくり品を創る職人の工房」を目指していく。

「絶対に手を抜かない」職人道

医療・理化学分野の機器製作から技術を積み重ねてきた板金加工事業者である。家族経営だが、「精密加工・精密仕上げ」をモットーに、職人道に徹した製品づくりが持ち味。自社開発のオリジナル製品は、暮らしに役立つ便利なモノが主体。今後も「こういうモノがあったらいいな」から生まれる自社製品を充実させ、一般消費者向けの「B to C」市場に展開していく。

◎主な保有設備

- ・タレットパンチプレス（富士機工製）1台
- ・プレス機（AMADA製、30t及び15t）各1台
- ・ベンダー（AMADA製、35t）1台
- ・シャリング（相澤製、4.5t）1台
- ・バリ取り機（富士機工製）1台
- ・溶接機（ダイシン製及びPanasonic製）3台

◎主な認証・実績等

- ・平成24年度 MACC 感謝状贈呈
- ・令和4年度 非常用トイレセット 区長より感謝状贈呈
- ・令和5年度 非常用簡易組立トイレ 区長より感謝状贈呈
- ・商標：立つ之助®（登録第5493620号）